

## 循環器内科(聴診) n=56

### 1. 今日の実習は今後役立ちそうですか?

とても	52 (92.86%)
まあまあ	4 (7.14%)
少し	0
全然	0

### 2. 今日の実習内容の比率は適切ですか?

このぐらいの比率でちょうどいい	48(85.71%)
正常異常心音をもっと聞きたい	8(14.29%)
もっと症例検討の比率が多いほうがよい	0

### 3. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか?

	I 音 II 音	II 音の呼 吸性分裂	III 音	IV 音	大動脈弁 狭窄症	僧帽弁閉 鎖不全症	大動脈弁閉 鎖不全症	僧帽弁 狭窄症	動脈管 開存症
自信あり	17(30.36%)	7(12.50%)	5(8.93%)	5(8.93%)	26(46.43%)	22(39.29%)	23(41.07%)	22(39.29%)	21(37.50%)
たぶん	36(64.29%)	24(42.86%)	24(42.86%)	25(44.64%)	26(46.43%)	30(53.57%)	28(50.00%)	28(50.00%)	24(42.86%)
自信なし	3(5.36%)	25(44.64%)	26(46.43%)	25(44.64%)	4(7.14%)	4(7.14%)	5(8.93%)	6(10.71%)	11(19.64%)

### 4. 実習後の循環器内科に対する興味は?

非常に増	16(28.57%)
増	40(71.43%)
減	0
非常に減	0

### 5. 本日の実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん聴診させていただけて、最初は何も分からなかったけど、最後は少しわかるようになった。予想してみても間違ふことも多くてこれからたくさん勉強したいと思いました。</li> <li>・実際に心雑音を聞けて、そこから病気を類推するところまで経験できて、良い学習でした。身体診察から得られる情報が循環器内科では重要だと改めて実感した。</li> <li>・橈骨動脈で脈を取りながら、I 音と II 音を聞き分けるといってお話を聞いて目から鱗でした。</li> <li>・少人数でシミュレーターを使うことができたため、何度も聴き直すことができ、充実した実習でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓の聴診について詳しく学びました。これから、実際の症例を通じて心音聴取を練習していこうと思う。</li> <li>・症例問題と、心音のクイズが非常に興味深かったです。心音を聴く機会がもっと欲しいです。</li> <li>・症例問題を考えるのが非常に興味深く、勉強になりました。</li> <li>・同じシミュレーターで同じ心音、心雑音を聞くのであれば聞き分けられると思うが、実際の患者さんでは人によって違うだろうから、聞き分ける自信がない。シミュレーターと患者さんでの聴診の経験を積みたいと思う。</li> <li>・スライドが少し早かったので、moodle 上に送って頂けたら嬉しかったです。</li> </ul>
--	---

### 6. 今後の課題・目標は?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴診の経験を積み、少なくとも典型例で心雑音を聞き取れるようになりたい。</li> <li>・収縮期、拡張期をまず区別して、前期か中期かも聞き分けられるようにすること。</li> <li>・そもそも特定の疾患で聴こえやすい音を覚えること</li> <li>・触診と聴診の手技診察を極めたいです。</li> <li>・異常心音を聞き分けられるようになること。</li> <li>・異常音を見極められる正確性を上げること、またその上でスピーディーに見極められるようになること。</li> <li>・まずはユニット型オスキーで勉強の成果を出せるように、復習することです。</li> <li>・まだまだしっかり聞き分けられないので、きちんと聞き分けられるように、また実際の患者さんで聞き分けられるように練習したいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の聴診をできるようになりたいです。</li> <li>・より正確に以上心音を聞き分けられるようになりたいです。</li> <li>・理由を合わせて理解して診断できるようになりたい</li> <li>・聞こえる部位と聞こえる音があっても、疾患と知識が結びついておらず、鑑別に至らなかったのも、もっと知識を増やしていきたい</li> <li>・実際の臨床現場で聞いてみたい。</li> <li>・実際の病態を考えつつ、聴診所見と合わせて診断を考えられるようにしたいです。</li> <li>・実際の患者さんの胸の音を聞くことでもっと診断能力を上げたいなと思いました。</li> <li>・聞こえる部位と聞こえる音があっても、疾患と知識が結びついておらず、鑑別に至らなかったのも、もっと知識を増やしていきたい</li> </ul>
---	--

## CV(血液内科・循環器内科) n=83

診療科内訳: 血液内科 11(13.25%) 循環器内科 71(85.54%)

### 1 予習はしてきましたか？

全然	16(19.28%)
少し	58(69.88%)
十分に	8(9.64%)

### 2. 実際に中心静脈穿刺手技を見たことがありますか？

はい	43(51.81%)
いいえ	39(46.99%)

### 3. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
20	75	100

### 4. 本実習の感想は？

非常に良い	62(74.70%)
良い	19(22.89%)
悪い	1(1.20%)
非常に悪い	0

### 5. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーターを用いた実習で、動画では分からない難しさがありました。</li> <li>・前は鎖骨下静脈でしたが、かなり前回のことを覚えていたおかげでスムーズにできました。</li> <li>・先生の解説がとてもわかりやすく流れを復習することができました。</li> <li>・実際に体験することができ、注意すべき点を再確認することができました。</li> <li>・実際するのと机上の勉強との大きな違いを感じた</li> <li>・大変学びになりました。</li> <li>教科書で見るよりイメージが湧きました。</li> <li>・以前よりはスムーズにできたが、逆血確認が難しかった。</li> <li>・先生が丁寧に教えて下さり、2度も練習することが出来ました。</li> <li>・予習の甲斐あり、良い出来だったと思う。余裕があればさらに声かけ等していきたい。</li> <li>・横で見ているのと実際に自分がやるのでは難しさが全然違った。</li> <li>・moodleの予習の動画の見方がわからなかったので、簡単に見れるようになると良いと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の器具を用いて練習することができるのはとても大きいと感じる。</li> <li>・名前だけ聞いたことのある手技を実際に行い、骨や神経に注意しながら血管に穿刺する難しさを実感しました。</li> <li>・2回目にも関わらず手順をかなり忘れていたので、復習しようと思いました。</li> <li>・担当の先生が優しく丁寧に教えてくださり、とても勉強になりました。慣れない手技でしたがこれから何度も練習したいと思いました。</li> <li>・鎖骨下静脈の血管に当たるのが難しく、焦ってしまったので、冷静に対応できるようになりたいです。油断するとガイドワイヤーを不潔にしてしまいそうだったので注意しようと思いました。(2回目)外頸静脈からのカテーテルを入れました。先生のご指導がとても丁寧で、スムーズに行うことができました。</li> <li>・鎖骨下動脈だけでなく、内頸動脈からの CV も練習できたので、良かったです。</li> <li>・CVカテーテルの手技を実際に経験できて良かったです。見本の動画を見れなかったのが、見れるようにしていただきたいです。</li> </ul>
---	---

### 6. 実習後の血液内科・循環器内科に対する興味は？

非常に増	32(38.55%)
増	49(59.04%)
減	1(1.20%)
非常に減	0

### 7. 本実習で手技に対する「見る」姿勢を理解し、実践できましたか？

よくできた	46(55.42%)
できた	34(40.96%)
できなかった	1(1.20%)
忘れていた	0

### 8. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけのポイントがわかった。手技の手順を学べた。</li> <li>・なぜその針を使うのかを理解できた。内頸静脈からのアクセスを理解できた。</li> <li>・間違えては行けないところを間違えにくくなった</li> <li>・内頸静脈の場所を確認し、正しく穿刺を行うこと。</li> <li>・流れを記憶することができた。</li> <li>・使う道具の理解がより深まった。</li> <li>・ガイドワイヤーやカテーテルの挿入は気をつけるべきポイントを意識しながらできた</li> <li>・逆血の確認ができるようになりました。</li> <li>・ワイヤーの尻尾を持つことを意識して実習できました。</li> <li>・空気の確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不潔にはなりません。</li> <li>・中心静脈カテーテルの穿刺部位の違いがわかりました。</li> <li>・前回より、落ち着いてできました。気をつけないといけなかったことを意識しながらできたと思います。</li> <li>・カテーテルをワイヤーに沿わせている。</li> <li>・静脈穿刺。一回で捉えられなくても落ち着いてできる。</li> <li>・一個一個その動作の目的や意義を考えて行うことができました。</li> <li>・感染と患者の配慮</li> <li>・穿刺の角度を浅くするとガイドワイヤーが入れやすいことです。</li> <li>・カテーテルの一連の流れ、準備から片付けまで</li> </ul>
--	---

9. 次回の実習(1回目の場合)・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に行う操作を想定して近くに道具を置いておく。バイアルから吸う時は空気をいれる。針を寝かせる。</li> <li>・素早くできるようになること</li> <li>・穿刺部位をなかなか見つけられず、先生に教えていただいてやっとできたので、実際 1人でカテーテル挿入するまでに何度か SSC で練習しないとイケないなと思いました。</li> <li>・声かけをもっと頑張りたいです。</li> <li>・油断するとガイドワイヤーを不潔にしまいそうだったので注意しようと思いました。</li> <li>・手順があやふやだったので、しっかり覚えたいです。</li> <li>・本穿刺までの操作をもっとスムーズにする。</li> <li>・使う針や道具をしっかり間違えないようにしたい。</li> <li>・空気の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く指示のない状態で一通りの手順をできるようになる。</li> <li>・患者さんへの声掛けなど手技以外の面の改善</li> <li>・ベアの人に教えてもらうことなく、手技を進めること。</li> <li>・手順を理解する。物品の準備を十分に作る</li> <li>・更にスムーズに穿刺し、手際よく手技を行えるようにする。それぞれのシリンジ、針の用途を覚えて正しく使用する。</li> <li>・よりスムーズに CV を行い、かつ、患者さんへの思いやりをもって十分な声かけを行いたい。</li> <li>・注射器の針差し替えが難しかった</li> <li>・穿刺の角度と、道具の準備をスムーズにできるようになりたいです。</li> <li>・穿刺が上手く出来るようになりたいです。麻酔が難しかった</li> <li>・工程を頭に入れて臨む。</li> <li>・より清潔を意識する。</li> </ul>
---	--

10. 2回目の実習のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。しました！(過半数)</li> <li>・そこそこしました！</li> <li>・前回よりはスムーズにできました。</li> <li>・ほとんど忘れていて大変だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮ができるようになった。知識が欠けているところがあったので、復習できた。</li> <li>・器具の扱いには多少慣れてきた感じがするが、手技の手順についてはまだ不安が残る。</li> </ul>
---	--

## 呼吸器内科(聴診)【実習前】 n=94

### 1. 聴診で聞き分ける自信はありますか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	37(39.36%)	27(28.72%)	31(32.98%)	16(17.02%)
自信がある	4 (4.26%)	2 (2.13%)	3 (3.19%)	2 (2.13%)
自信がない	53(56.38%)	64(68.09%)	60(63.83%)	75(79.79%)

## 呼吸器内科(聴診)【実習後】 n=85

### 1. 本実習の感想は？

非常に良い	75 (88.24%)
良い	10(11.76%)
悪い	0
非常に悪い	0

### 2. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	34(40.00%)	42(49.41%)	16(18.82%)	21(24.71%)
自信がある	48(56.47%)	39(45.88%)	69(81.18%)	62(75.29%)
自信がない	3 (3.53%)	4(4.71%)	0	0

### 3. 今日の実習はこれからの回診で役立ちそうですか？

とても	83(97.65%)
まあまあ	2(2.35%)
あまり	0
無回答	0

### 4. 本実習で改善すべきと思う点があれば、お聞かせください

- ・特になし。素晴らしい実習をしていただきありがとうございました(多数)
- ・音を当てるクイズの解説の後、すぐに確認のために聴診器で聞きたい。
- ・先生の教授内容を全て覚えたり書きとったりするのは困難なので、レジュメの内容をもう少しだけ充実させてほしい(授業後にレジュメをダウンロードできるような仕組みなどでも)
- ・実際の聴診では心音も聞こえるはずなので、それも込みの練習もしたかった。

### 5. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	25 (29.41%)
増	59 (69.41%)
減	1 (1.18%)
非常に減	0

### 6. 今後の課題・目標は？

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の患者さんでも、しっかり聞けるようになりたい。</li> <li>・fine crackles と coarse crackles の違いを聞き分けること。</li> <li>・難しいところもありましたが非常に勉強になりました。</li> <li>・疾患ごとに聴ける音を理解した上で患者さんの聴診を行うこと</li> <li>・毎回ちゃんと聴診をして、他のところを回った時でも聞く癖をつけて正常も知りたと思いました。</li> <li>・数多く聴診をして耳と頭に擦り込みたい</li> <li>・OSCE で満点とる。</li> <li>・連続性の音や断続性の音は聞き分けられるが高音、低音はまだ自信がないのでそこをいっぱい聞いて聞き分けられるようになりたいです。</li> <li>・ねんぱつ音と水泡音の聞き分け</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常、異常音を心拍がある状態で聞き分けること。</li> <li>・問診に活かしていきたいです。</li> <li>・呼吸音の聞くべき場所や、音の聞こえるタイミング、音の種類を理由付けして他人に説明できるようにしておくことです。</li> <li>・患者さんの主訴や身体所見を合わせて総合的に診断できるようにになりたいです。</li> <li>・元々の知識が不足すぎていたので、根本的なところから勉強をやり直したい。</li> <li>・それぞれの異常音に加え、左右差や呼吸音減弱などの兆候も察知できるようにすること。</li> <li>・実際の患者さん相手だととても難しかったので臨床で聴診所見を述べられるようにすること。</li> <li>・肺区域を意識した聴診ができるように鍛錬していきたいです。</li> </ul> |
|--|--|

## 呼吸器内科(聴診)【回診後】 n=28

### 1. 回診で実際の患者さんから聴取できましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
聴取できた	14(50.00%)	9(32.14%)	8(28.57%)	7(25.00%)
たぶん	10(35.71%)	6(21.43%)	5(17.86%)	5(17.86%)
機会なし	4(14.29%)	9(32.14%)	11(39.29%)	11(39.29%)
聴取できなかった	0	3(10.71%)	3(10.71%)	4(14.29%)

### 2. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

- ・何度も聞かせて頂いたのでもよかったです。ありがとうございました
- ・fine crackles の吸気終末にかけて大きくなっていく性質を知ることができて、非常に勉強になりました
- ・実際の患者さんの音を聞くことができ、勉強になりました。
- ・ラ音を聴き取ることはできなかったが、教授の患者との接し方、呼吸音の聴き方を肌で実感できた。

## 呼吸器内科(気管支鏡) n=45

### 1. 実際に気管支鏡検査を見たことがありますか？

はい	31(68.89%)
いいえ	14(31.11%)

### 2. 本日の気管支鏡実習の自己評価は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
2	76	100

### 3. 気管支鏡実習の感想は？

非常に良い	32(71.11%)
良い	13(28.89%)
悪い	0
非常に悪い	0

### 4. 難しかったですか？

はい	35(77.78%)
いいえ	10(22.22%)

### 5. 4.「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支鏡の扱い方</li> <li>・肺区域の見分け方</li> <li>・気管支鏡をいれながら場所を把握すること</li> <li>・身体を回転させて操作するところ</li> <li>・気管支の分岐の構造や実際に狙ったところに進ませること</li> <li>・気管支の構造が複雑で思ってる以上に引っかかることが多かった。</li> <li>・真ん中を保ちながら入れるところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B6 に入れるとき</li> <li>・画面に意識がいて、左手の位置を保つこと</li> <li>・肺の立体構造を理解するのと、カメラの操作</li> <li>・気管の壁に当たらないように気管支鏡を進めること</li> <li>・解剖がちゃんとわかっていなかったのどこを見てるのかわからなかった</li> <li>・消化管内視鏡と少し操作が違う点。</li> <li>・解剖を考えつつ操作すること</li> </ul>
--	---

### 6. 本日の実習でできるようになったこと、感想・要望は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・手技を実際やってみてとても難しいと感じました。肺区域の理解が深まりました。</li> <li>・肺の構造について理解できた</li> <li>・気管支内視鏡を操作できた</li> <li>・S1 から S10 まで全部入れることができました</li> <li>・気管支鏡に対するイメージが湧きました。消化管内視鏡より体全体で動かすことがわかり興味深かったです。</li> <li>・ゲームのような感じがして楽しめました。空間を把握する能力をさらに高めたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の基本操作について学べ、解剖知識の復習にもなった。</li> <li>・各気管支の位置を把握でき、さらにそこまでカメラを到達させることができた。</li> <li>・消化管内視鏡と比べて、操作しやすくやりやすかった。</li> <li>・先生方がされている検査が難しいということが分かりました。ありがとうございました。</li> <li>・気管支鏡の操作をできるようになり、実際に気管支鏡で見える画面から、肺区域の立体的な位置関係がわかりやすかったです。</li> </ul>
---	--

### 7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に患者さんの負担が少ないように行うこと。</li> <li>・もう少し練習をして慣れたい。</li> <li>・気管支の番号をしっかりと覚えること。</li> <li>・気管支の分岐などの構造を理解し気管支鏡をうまく操作できるようにになりたいです。</li> <li>・より解剖を理解して、実際の気管支鏡検査での捜査を理解できるようにになりたい。</li> <li>・の解剖をもう一度整理すると気管支鏡での左右上下がわかるようになること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺区域の位置の把握と、その区域にどの疾患が多いのかを対応させること</li> <li>・実際はさらに奥まで進めないといけないので、もっとスピードにできるようにする。</li> <li>・個人差があっても理解できるようになる。患者に配慮する</li> <li>・気管支の解剖構造の把握が不十分で、今どこを見ていのか理解できていない部分があったので、解剖の知識を高めたいです。</li> <li>・内視鏡の角度をスムーズに変えられるようにしたいです。</li> </ul>
--	--

・もっと自由自在に動かせるようになりたいです	す。
------------------------	----

8. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	15 (33.33 %)
増	29 (64.44 %)
減	1 (2.22 %)
非常に減	0

9. 気管支鏡実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	38 (84.44 %)
まあまあ	7 (15.56 %)
あまり	0
全然	0

10. 呼吸器内科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・レントゲン実習が祝日でなかったので振替があるとありがたいです。</li> <li>・胸腔鏡もシミュレーションしてみたいです！</li> <li>・市中病院でやっているようなスパイロメトリーなどもやってみたいです。</li> <li>・呼吸機能検査の実体験をしたいです。</li> </ul>
---

呼吸器内科(吸引) n=62

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
1.シナリオでは患者の情報を収集できましたか？	25 (43.86 %)	30 (52.63 %)	1 (1.75 %)	1 (1.75 %)
2. シナリオでは収集した情報から状況を判断できましたか？	24 (42.11 %)	32 (56.14 %)	0	1 (1.75 %)
3.シナリオでは予測されるリスクについて考えることができましたか？	20 (35.09 %)	36(53.73%)	6(8.96%)	0
4.吸引の計画・準備はできましたか？	26 (45.61 %)	26 (45.61 %)	3 (5.26 %)	1 (1.75 %)
5. 手順に沿って実施できましたか？	32 (56.14 %)	23 (40.35 %)	1 (1.49%)	0
6. チームメンバーと相談・協力しましたか？	39 (68.42 %)	15 (26.32 %)	2 (3.51 %)	2 (3.51 %)
7. 積極的に行動しましたか？	35 (61.40 %)	21 (36.84 %)	0	1 (1.75 %)
	思う	だいたいそう思う	あまり思わない	思わない
8. 吸引の知識は深まりましたか？	40 (70.18 %)	16 (28.07 %)	1 (1.75 %)	0
9. 吸引の手技は理解できましたか？	40 (70.18 %)	17(29.827%)	0	0
10. 吸引の手技は習得できましたか？	35 (61.40 %)	21 (36.84 %)	1 (1.75 %)	0
11. 吸引の手技に関して、自身の課題が見い出せましたか？	30 (52.63 %)	26 (45.61 %)	1 (1.75%)	0
12. 吸引の手技に関して、自信がもてましたか？	25 (43.86 %)	29 (50.88 %)	3 (5.26 %)	0
13. 吸引実習はこれから役に立ちそうですか？	44 (77.19 %)	12 (21.05 %)	0	0
14. 今後必要な状況があれば実践したいですか？	43 (75.44 %)	13 (22.81 %)	1 (1.75%)	0

15. 吸引実習についての感想・要望などお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすかった</li> <li>・楽しかったです。将来のためになった。</li> <li>・様々な器具を使って実習をさせていただき、使い方を理解することが出来ました。</li> <li>・難しいところもありましたが非常に勉強になりました。</li> <li>・吸引についてしっかり考えたことがなかったので、とても勉強になりました。</li> <li>・吸引に用いる器具で、清潔操作が不要なものがあり、感動しました。</li> <li>色んな器具の使い方が学べてよかったです</li> <li>・吸引方法について鼻から口から気管切除部位からの方法を学べてためになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸引についてをしっかりと考えたことがなかったので、とても勉強になりました</li> <li>・様々な器具を使って実習をさせていただき、使い方を理解することが出来ました。</li> <li>・実際に何回も練習できて楽しかったです。</li> <li>・口からの吸引があんなに難しいと知りませんでした。もう少し上手になりたいです！</li> <li>・今まで吸引を見ることはありましたが、実際にシュミレーターでできて勉強になりました。</li> <li>・今まで吸引を見ることはありましたが、実際にシュミレーターでできて勉強になりました。吸引方法について鼻から口から気管切除部位からの方法を学べてためになりました。</li> </ul>
--	--

## 小児科【実習前】 n=96

### 1. 小児診察に対するイメージを一言で表すと?

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児診察は大人の診察よりも症状を主張できなかつたり繊細なので難しいイメージ</li> <li>・成人と異なるし、成長段階によって正常が異なるから難しい。</li> <li>・子供が泣かない・暴れないように慎重に行うイメージ。</li> <li>・小児は自分の病状を十分に表現できないため、慎重に診察する必要がある。</li> <li>・泣いてしまうと思うようにいかない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵襲の無いように丁寧に行う必要がある</li> <li>・本人からの聴取が難しいことが多く、親御さんからの間接的な聴取が必要となる場合があり正確な把握が難しい。</li> <li>・じっとするのが難しかったり、症状を伝えるのが難しかったりして、大人と比べて大変そう。</li> <li>・対話が難しそう。機嫌によっては問診できなさそう</li> <li>・難しい</li> </ul>
---	--

	2. 小児の問診をとる自信はありますか?	3. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	4. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?
たぶん	30(31.25 %)	18 (18.75 %)	16 (16.67 %)
自信がある	3(3.13 %)	2 (2.08 %)	4 (4.17 %)
自信がない	63(65.63 %)	76 (79.17 %)	76 (79.17 %)

### 5. 今までに手背静脈採血を経験したことはありますか?

実際にある	52 (54.17 %)
見学はある	32 (33.33 %)
全くない	12 (12.50 %)

## 小児科【実習後】 n=95

	1. 小児の問診をとる自信はありますか?	2. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	3. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?	4. 小児の手背静脈採血する自信は?
たぶん	62 (65.26 %)	65 (68.42 %)	53 (55.79 %)	45 (47.37 %)
自信がある	21 (22.11 %)	16 (16.84 %)	16 (16.84 %)	41 (43.16 %)
自信がない	10 (10.53 %)	12 (12.63 %)	24 (25.26 %)	7 (7.37 %)

### 5. 本実習の感想は?

非常に良い	52(54.74%)
良い	39(41.05%)
悪い	0
非常に悪い	1 (1.05 %)

### 6. 本実習の時間について

ちょうどいい	86(90.53%)
短い	0
長い	6 (6.32 %)

### 8. 実習後の小児科に対する興味は?

非常に増	19 (20.00 %)
増	70 (73.68 %)
減	3 (3.16 %)
非常に減	0

### 7. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> <li>・シュミレーターもよく出来ており大変充実した実習で、採血の練習を沢山させて欲しい</li> <li>・先生の整理された頭が欲しいと思いました。</li> <li>・採血実習でいきなり試験形式だったので、気をつけるべきポイントを事前に詳しく教えて欲しかった。</li> <li>・問診、診察実習で評価項目の内容がわかりづらかった。</li> <li>・小児採血についてももう少し詳しく知りたかったです。</li> <li>・小児の急変症状について詳しい説明が欲しかった。</li> <li>先生方のお手本を先に見せて頂ければ、より勉強になったのではないかと思います。事前に器具の使い方を説明してもらえると使っていたと思う</li> <li>・症候毎にどういった疾患を考えるのか、参照できるものがあればより説明が頭に入ってきやすいと感じました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採血の人形の手が穴だらけなのが気になりました。</li> <li>・採血実習の抑えるべきポイントを最後に再度まとめて教えていただけると幸いです。</li> <li>・できればもう少し予習をしてから実習に臨みたかったので、実習で何をするか予めお知らせしてくれると予習しやすかったと思います。</li> <li>・どういことをするべきだったかという、模範解答のような資料を実習後にいただくことができるとフィードバックおよび復習がしやすいかと思います。</li> <li>・小児診察の見るべき点をもう少し幅広く知ればさらに嬉しかった。</li> <li>・2つの症例に関して、2グループに分かれて問診診察したのですが、自分と違うグループの症例の肺の音を聞きたかったなと思いました。</li> </ul>
--	--

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の採血について、今まで見ているだけだったので、シュミレーターで実際に実践できて勉強になり身体診察も、診察の順番の重要性を実感できました。</li> <li>・小児疾患で頻度が高いものや見逃してはいけないものを頭に置きながら、鑑別するためにどの情報が必要かを考えることが難しかった。問診は全部情報を聞き出さないと無意味だとわかった。例えば発達を見たい時は出生児と現在の体重だけでなく、何周で出生したかまでの情報が揃ってから初めて意味をなすと気づきを得れた</li> <li>・採血、問診、診察と大変重要な手技を学習することが出来OSCE 形式で練習ができて、本番のイメージが強固なものになってよかった</li> <li>・全く出来なかったが、実際に模擬問診、しんだんをすることで改善すべき点が浮き彫りになってよかったです。具体的には、小児であれば出生児と体重、出産週、また上級医への鑑別疾患の発表の流れなどです。</li> <li>・ご講義ありがとうございました。実習を通して、小児科においての問診・身体所見の取り方を学び、大変勉強になりました。</li> </ul>	<p>小児と成人における相違点、採血で注意すべきポイントをよく知ることができました</p> <p>問診をみんなで話し合いながらできたのでよかった</p> <p>二症例目の内容が、一症例目のフィードバックで教えていただいたことを活かせるようなものにして下さっていたので、すぐ実践できて記憶に定着しやすかったです。</p> <p>実際に問診、身体診察、上級医への報告をすると頭との整理ができずに聞き漏らしや報告忘れが起きてしまった。</p> <p>上級医への報告で自分の仕事の出来を判断される部分も大きいと思います。</p> <p>ここで必要な情報をきちんと伝え、なぜその疾患だと思うのか、除外診断は何なのかを理由付けて説明できる先生になりたいです。</p> <p>いきなり小児の診察を行って上級医に報告するのは難しいと思ったが、研修医になるまでにしっかりできるようにしたい。</p>
---	--

10. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑別疾患を想定しながら具体的な問診、身体診察を行うこと、判断能力を身につけたい。</li> <li>・採血できるようになる。</li> <li>・患者さんの症状にあわせた問診と身体診察を 1 人でできるようにがんばる。</li> <li>・小児科に興味があるので引き続き勉強したい</li> <li>・手技が苦手なので、シミュレーターを使って小児採血ができるようになる</li> <li>・実践的で現場でどのように行動するか考える良い機会となった。</li> </ul> <p>本番の Post-CC OSCE の形式通り、問診→診察→鑑別・方針を上級医に説明するという機会を得られて、大変有意義な実習でした。</p> <p>丁寧なフィードバックもいただけ、今後の励みにもなりました</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を増やすことはもちろんですが、コミュニケーション能力を身につけたいです。</li> <li>・問診、身体所見から疾患の鑑別を上げるところがなかなか難しかったです。</li> </ul> <p>小児診察実習は非常に貴重な経験でした。診察の手順を学ぶことができました。先生方からのフィードバックやアドバイスも役立ち、自分の成長を実感できました。医療の現場を身近に感じられたことに感謝しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供のことを問診するというのは予想以上に難しかったです。大人とは少し違って掘り下げて聞くところや追加で聞かなければいけないところがたくさんあり、想起する疾患も異なるので勉強をもっとしなければいけないと感じました。また1年2年、年齢が違うだけで疾患が異なってきたり、活動の範囲やできることなども全然違ってくるのできちんと小児の発達の目安を知らなければ対応できないと感じました。</li> </ul>
---	--

11. 担当教官へ一言お願いします

<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧なご指導ありがとうございました(多数)</li> <li>・時間を計って Post-CC OSCE 本番と同じ形式で実習をしていただいたので大変勉強になり、疾患を当てるのではなく、脱水や呼吸状態など、病態や重症度を評価する方が大事と教えていただき目から鱗でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説が非常分かりやすく、勉強のモチベーションになりました。これからも実習頑張ります。</li> <li>・将来小児科に進みたいと考えているので、今回の経験はとても貴重なものになりました。課題だった問診を上達できるようにしたいと思いました。</li> </ul>
--	--



## 産科(分娩) n=43

1. お産に対するイメージを一言で表すと？

・お母さん大変	神秘的
・胎児を傷けそうで怖い	感動的
・痛そう	重労働
・長くて大変な戦いと感動	大変
・生命の神秘	突然始まる

2. お産を実際に見たことはありますか？

いいえ(0回)	13 (30.23 %)
1回	16 (37.21 %)
2~4回	13 (30.23 %)
5回以上	1 (2.33 %)

3. 本実習の感想は？

非常に良い	35 (81.40 %)
良い	8 (18.60 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. お産に対するイメージは変わりましたか？

はい	17 (39.53 %)
いいえ	26 (60.47 %)

5. 4で「はい」の方 どんな風になりましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産は母親にとっても赤ちゃんにとっても命がけのことだと分かりました。吸引分娩を実際に実習で経験させて頂き、とても力があることが分かり驚きました。</li> <li>・吸引分娩、帝王切開共にある程度力を入れて胎児を取り出しているのを見て、胎児は丈夫だから力を使ってやらないといけないと感じました。</li> <li>・産科医は母児の状態を把握して瞬時にどうやって産むか、あるいは産まないのか判断することが求められると思いました。</li> <li>・お産では、緊急で対応しないといけない場面もあると聞き、救急に近いケースもあるのだと知りました。</li> <li>・よく分からないものから分かるものになりました</li> </ul>
---

6. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

かなり	35 (81.40 %)
まあまあ	7 (16.28 %)
あまり	1 (2.33 %)
全然	0

7. 実習後の産科に対する興味は？

非常に増	17 (39.53 %)
増	26 (60.47 %)
減	0
非常に減	0

8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビショップスコアなどをしっかり学習しようと思います。</li> <li>・胎児の回旋や子宮口開大などの知識を整理し、安全かつ迅速に分娩できるよう正しい知識を身につけること</li> <li>・目標は、産婦人科に限らず、SSC で実際に触って学習する機会があれば、あらゆる疑問を解消していき、最終的には頭の中で素早くイメージできるようになることです。</li> <li>・大泉門を触って大か小か判断できるようにする。</li> <li>・産科の勉強だけでなく来週からの婦人科範囲も合わせて勉強することでより知識を深めていこうと思います。</li> <li>・分娩の流れや仕組みについて、具体的なイメージが湧いていなかったのですが、実際模型を使って教えていただいて、理解が深まりました。また、吸引分娩もさせていただきましたが、思っていた以上に難しかったです。産婦人科志望なので、もっと知識と経験を増やしていきたいと思いました。</li> </ul>
--

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に勉強になりました(多数)</li> <li>・先生に病棟でも SSC でも分かりやすくたくさん教えて頂き本当に勉強になりました。</li> <li>・内診や吸引分娩の実体験を通じて知識が整理できてよかったです産婦人科の勉強もしっかり行っていこうと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書では理解しにくかった内容も、模型を使って学習すると、分かりやすかったです。</li> <li>・丁寧にわかりやすく、教えていただいて、ありがとうございました。産婦人科への興味がより深くなりました。</li> <li>・母親の陣痛に耐える力はすごいと感じました。適切に声をかけて安心させることが大事だと思いました。</li> </ul>
---	--

縫合(消化器外科・形成外科) n= 65

診療科内訳: 消化器外科 26(40.00%) 形成外科 39(60.00%)

1. 今まで縫合したことがありますか？

はい	56 (86.15 %)
いいえ	9 (13.85 %)

2. 本日の実習はどんなことをしましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・真皮縫合、表皮縫合</li> <li>・単純縫合・器械縫合</li> <li>・垂直マットレス縫合</li> </ul>
--

3. 本日の実習の感想は？

非常に良い	56 (86.15 %)
良い	9 (13.85 %)
悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	39 (60.00 %)
いいえ	26 (40.00 %)

5. 4で「はい」の方 どのところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・針を掴むのが難しい</li> <li>・針の円運動の先を想像すること</li> <li>・真皮縫合を綺麗に行うこと。</li> <li>・同じ間隔で針を出すところ。</li> <li>・真皮縫合のときに、針を上手く動かして真皮内で完結させるのが難しかったです。</li> <li>・高さを揃えて針を通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持針器の使い方</li> <li>・確実に素早くやるのが難しかったです</li> <li>・針がどこから出てくるのか予想できず、両方の傷を縫合する高さを合わせたり、一直線に縫合するのが難しかったです。</li> <li>・新しい縫い方も学んだ。きれいに傷跡を治すには工夫が必要だと学んだ</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・針の扱いを学んだ</li> <li>・縫合が早くできるようになった</li> <li>・等間隔で針を入れる方法</li> <li>・持針器や鑷子な持ち方から縫い方を学びました。</li> <li>・針の運び方、糸の結び方、鑷子の持ち方を学んだ。</li> <li>・真皮縫合で高さを合わせて縫合すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結紮の速度と正確性が上がった</li> <li>・手技の手順は理解したうえで、前回よりはスムーズに進めることができた。</li> <li>・より難しい縫合をできるようになった。</li> <li>・前回より素早く縫合できた。</li> <li>・逆針で持った時にスムーズにできた</li> </ul>
--	--

7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピード</li> <li>・素早く縫合すること、円運動を綺麗に行うこと</li> <li>・次回は針を入れる位置や、結ぶときの強さなどにも気を使えるようにしたいと思います。</li> <li>・縫合の種類を覚えてうまくできるようになりたいです</li> <li>・練習を積んでよりクオリティの高いものにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ縫合には時間がかかるので、無駄なく最短距離で縫合ができるように練習していきたいと思います。</li> <li>・実際に人でもうまくできるようになりたい。</li> <li>・縫い目の高さをもっと綺麗に合わせられるようになりたいです。</li> <li>・真皮縫合をもっとスムーズにする。</li> </ul>
---	--

8. もっと縫合の練習をしたいと思いますか？

はい	50 (76.92 %)
いいえ	13 (20.00 %)

9. 8で「はい」の方 どんな縫合がしたいですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・真皮縫合</li> <li>・反復練習</li> <li>・きれいな縫合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より人体の皮膚に近い皮膚での練習</li> <li>・実際にするいろんな種類の縫合</li> <li>・実際の手術で行うような縫合の練習</li> </ul>
---	---

10. 2回目の実習の時のみお答えください。

前回よりもレベルアップしましたか？n=43

はい	43 (66.15 %)
いいえ	0
下がった	0

11. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	10 (15.38 %)
増	46 (70.77 %)
減	0
非常に減	0

12. 今日の実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	48 (73.85 %)
-----	--------------

まあまあ	8 (12.31 %)
あまり	0
全然	0

13. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変勉強になりました。</li> <li>・とても説明がわかりやすかった。</li> <li>・一つの手技をやる時間が多く、時間を気にせず練習に集中できたのが良かった。</li> <li>・OSCE から時間が経っており少し記憶が薄れていたのので、縫合実習を2回してくださるのは大変助かります。</li> <li>・没頭してできる良い実習だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷跡が残りにくい縫合方法を丁寧に教えていただきました。</li> <li>・手を動かすことが中心で非常に面白かった。</li> <li>・先生の指導が丁寧で、不器用な私でも縫合が少し上達できました。</li> <li>・担当の先生がとても丁寧に教えてくださったので、わかりやすく、楽しかったです。</li> </ul>
--	---

14. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし(多数)</li> <li>・もっと実際の皮膚に近いもので縫合したい(1名)</li> <li>・もっと回数を増やしてほしい(1名)</li> </ul>
---

15. 消化器外科、形成外科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な手技、術式などを学べる実習</li> <li>・ダヴィンチ</li> <li>・植皮、皮弁の施術の見学。</li> <li>・管縫合や臓器の縫合は興味がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の患者さんに縫合を手技を行う</li> <li>・看護師の仕事と協力できるような実習</li> <li>・腹腔鏡を試みたいです。</li> <li>・血管の縫合</li> </ul>
---	---

## 腹腔鏡（外科・産科・泌尿器） n=55

診療科内訳：消化器外科 15 (27.27%) 肝胆膵外科 8 (14.55%) 産科 1 (1.82%) 泌尿器科 31 (56.36%)

### 1. 担当医は熱心でしたか？

非常に熱心	40 (72.73 %)
熱心	12 (21.82 %)
熱心でない	2 (3.64 %)
全然	1 (1.82 %)

### 2. 指導は分かりやすかったですか？

非常にわかりやすい	41 (74.55 %)
わかりやすい	13 (23.64 %)
わかりにくい	0
非常にわかりにくい	0

### 3. 実習の進め方は？

非常に良い	39 (70.91 %)
良い	15 (27.27 %)
悪い	0
非常に悪い	0

### 4. 本実習の感想は？

非常に良い	33 (60.00 %)
良い	22 (40.00 %)
悪い	0
非常に悪い	0

### 5. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
70	97.6	100

### 6. 担当医の総合評価は 100 点満点中何点ですか？

最低	平均	最高
0	74.7	100

### 7. 実習で改善すべき点があれば、お教えてください

・特になし(多数) ・もっと時間が欲しい！(1名)

### 8. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	10 (18.18 %)
増	42 (76.36 %)
減	1 (1.82 %)
非常に減	2 (3.64 %)

### 9. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・より腹腔鏡の操作を速く行うことができた。</li> <li>・腹腔内の鉗子の操作に慣れ、スムーズに輪の中に糸を通せるようになった。</li> <li>・腹腔鏡のイメージがなんとなくつかめました！</li> <li>・尿道損傷に注意することを学んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導尿と腹腔鏡の使い方を学べた。</li> <li>・腹腔鏡による縫合と結紮</li> <li>・鉗子の回転方向を考えて、理解しながら縫合操作を行うこと</li> <li>・腹腔鏡の基礎的な手技を学ぶことが出来た。</li> <li>・器具の扱い方</li> </ul>
--	--

### 10. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと滑らかにできるように頑張りたいです。</li> <li>・腹腔鏡での縫合をできるようにすること</li> <li>・縫合用の糸を結紮できるようになりたいです。</li> <li>・早い時間で糸を結べるようになること。</li> <li>・針を掴むのが難しかったので、もう少しスピーディに、そして向きをよく考えて取り組みたいです。</li> <li>・疲れない持ち方を覚える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ通りに扱えるようになる</li> <li>・もっと自分の手のように動かせるようになりたい。</li> <li>・再現性を上げることです、加えて必要最低限の動きで済ませること。</li> <li>・素早く正確な手技を目指す。</li> <li>・次回は結紮までできるようになりたいです。</li> </ul>
--	---

### 11. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しく手技について学べました。(多数)</li> <li>・難しかったので、何回も実習したいです。</li> <li>・シミュレーターといえどなかなか腹腔鏡を持つ機会がないので、良い刺激になりました。腹腔鏡下での手技は非常に難しく、先生方の手技がいかに優れているかが実感できました。</li> <li>・細かい作業をやることの難しさを改めて実感しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な課題があり楽しく実習をすることができた。</li> <li>・非常に楽しく、外科に対する興味が一段と増した。</li> <li>・実際の外科手術では緊張感のある中、細かい作業を正確に行なっていてすごいと思いました</li> <li>・とても丁寧に教えてくださってわかりやすかったです。他にも実技以外の色々なお話やアドバイスを聞かせていただいで楽しかったです。</li> </ul>
---	---

### 12. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	6 (10.91 %)
した	21 (38.18 %)
同じ	5 (9.09 %)
下がった	0

## 泌尿器科(持続的導尿) n=48

1. 実習中に持続的導尿を見学する機会がありましたか？

はい	44 (93.62 %)
いいえ	3 (6.38 %)

2. 実習中に持続的導尿を行う機会がありましたか？

はい	29 (61.70 %)
いいえ	18 (38.30 %)

3. 2で「はい」の方、どのような準備(自己学習)をされましたか？

- ・導尿をする人目線の注意点と介助者目線の注意点両方学習できた。
- ・先生に SSC で教えていただきました。今から頼まれても導尿できるように、今日やったことを覚えておきたいです。
- ・特に何もませんでした。
- ・先生方の手技を見て学びました
- ・手術でバルーンをいれました

4. 持続的導尿はこれから役に立ちそうですか？

とても	40 (85.11 %)
まあまあ	6 (12.77 %)
あまり	1 (2.13 %)
全然	0

5. これから始まる実習です。感想、ご要望がありましたらご記入下さい。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・模型でのシミュレーションでしたが、臨床において問題となる点を先生が説明してくださったのでわかりやすかったです。ありがとうございました。</li><li>・とても勉強になりました！</li><li>手術で行う機会があると思うので、活かしたいです。</li><li>・注意点などを学べたのでよかったです</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・女性のシミュレータでも練習したい。</li><li>・他の科ではなかなか得ることができないアドバイスをもらったりとてもためになる実習であった。</li><li>・ピンセットを用いるのが難しかったです。</li><li>・とても勉強になりました。</li></ul> |
|--|---|

## 肝胆膵内科【1週目】(1) n=76

### 1. 超音波検査手技に対する現在のイメージを一言で表すと？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・非侵襲的な検査。</li> <li>・難しそう</li> <li>・安全</li> <li>・リアルタイムで手軽に検査できる</li> <li>・白黒で難しい。</li> <li>・適切な描出が難しそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低侵襲で行えるが、知識がないとどこが何の臓器か難しいのでしっかりと勉強する必要がある。</li> <li>・1番手軽にできる検査なので、しっかりと身につけないといけない</li> <li>・ガイド下に穿刺をしたり臓器の腫大を見るイメージです。</li> <li>・侵襲がなく簡便にできる重要な手技だが、やり方が分かっていなければ難しい手技。</li> </ul>
--	---

### 2. 今までプローブを持ったことはありますか？

OSCEの心エコーのみ	46 (60.53 %)
何度かある	28 (36.84 %)
なし	2 (2.63 %)

### 3. エコーで抽出できる自信はありますか

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	25 (32.89 %)	12 (15.79 %)	12 (15.79 %)	21 (27.63 %)	17 (22.37 %)
自信がある	6 (7.89 %)	2 (2.63 %)	1 (1.32 %)	2 (2.63 %)	1 (1.32 %)
自信がない	45 (59.21 %)	62 (81.58 %)	63 (82.89 %)	53 (69.74 %)	58 (76.32 %)

## 肝胆膵内科【2週目】(1) n=48

### 1. 本実習の感想は？

非常に良い	41 (85.42 %)
良い	7 (14.58 %)
悪い	0
非常に悪い	0

### 3. 本実習の時間について

ちょうどいい	46 (95.83 %)
短い	0
長い	1 (2.08 %)

### 2. エコーで抽出できる自信はつききましたか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	20 (41.67 %)	20 (41.67 %)	27 (56.25 %)	14 (29.17 %)	21 (43.75 %)
自信がある	28 (58.33 %)	28 (58.33 %)	19 (39.58 %)	32 (66.67 %)	27 (56.25 %)
自信がない	0	0	2 (4.17 %)	2 (4.17 %)	0

### 4. 本実習で改善すべきと思う点があれば聞かせください

・充実した実習をありがとうございました。(多数)

### 5. 実習後の肝胆膵内科に対する興味は？

非常に増	14 (29.17 %)
増	32 (66.67 %)
減	0
非常に減	0

### 6. 本日の実習でできたこと・感想・要望は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコーでわかることとわからないことを理解することができました。</li> <li>・FASTを出せるようになった。臨床の場で役立てたい。病変を探すのが面白かったです。</li> <li>・胆石、総胆管結石の描出、実際にアコースティックシャドウを見つけることができた</li> <li>・初め講義を受ける前はエコー自体なにを見ているのかよく分からなかったが、本講義で見方や出し方を学び実際の病棟実習にも活かせる知識がついた。</li> <li>・腹腔内の解剖位置をエコーでイメージすることができるよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコーがたくさんできて勉強になりました。</li> <li>・心タンポナーデを見つけることができた。腹水も見つけることができた。</li> <li>・実際に病変を特定することができて、自信につながった。正常をしっかり理解することが大事だと改めて実感できた。</li> <li>・超音波検査は、体の中のどこをどの方向から見ているから画面でそのように見えるのなかなか理解できなくてとても苦手なのですが、たくさん練習させて頂けてとてもよかったです。ありがとうございました。</li> <li>・各臓器をエコーでしっかりと描出できたのが嬉しかったです。</li> </ul>
---	---

うになってきた。	機会があれば、ソナリンピックにも参加したいです。
----------	--------------------------

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常・異常の判断が素早くできるようになること。</li> <li>・今日できたことの再現性を上げていくことです。</li> <li>・素早く特定の臓器や病気を見つけられるようにする。</li> <li>・肝静脈や心嚢をもっとはっきりと描出できるようになる</li> <li>・ヒトでもエコーを当てられるようになること。</li> <li>・正常でも個人差があると思うので、いろんなエコー像を見ることがその力を養っていければと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沢山経験を積むこと</li> <li>・実際の患者さんや友人同士でエコーをあてたい。</li> <li>・解剖とエコーによる描出を結びつけることはかなりできるようになった気はするのですが、スクリーニングの際にどの手順で見ていくのかというところはまだ覚えきれていないので、もっと勉強したいなと思っています。</li> <li>・より綺麗に描出できるよう練習を重ねます。</li> </ul>
---	--

肝胆膵内科【実習前】(2) n=49

1. 腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい</li> <li>・簡便な検査</li> <li>・きちんと画像を写すのが難しい</li> <li>・侵襲性がない</li> <li>・解剖が完全に理解している必要がある。</li> <li>・技術が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非侵襲的で、機材も場所を取らないため実施しやすく有用な検査という印象がありました。</li> <li>・行う医師の技量によって見えやすさが大きく左右されるイメージです。</li> <li>・イメージする力が必要な手技であるという印象があります。</li> <li>・何を見ているかよくわからない</li> </ul>
---	--

2. 検査の経験回数は？

初めて	9 (18.37 %)
1回	21 (42.86 %)
2-10回	19 (38.78 %)

3. 臓器抽出の自身はありますか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
非常にある	19 (38.78 %)	1 (2.04 %)	0	0	0
ある	14 (28.57 %)	10 (20.41 %)	10 (20.41 %)	17 (34.69 %)	11 (22.45 %)
たぶん	22 (44.90 %)	22 (44.90 %)	18 (36.73 %)	22 (44.90 %)	21 (42.86 %)
ない	10 (20.41 %)	16 (32.65 %)	19 (38.78 %)	9 (18.37 %)	15 (30.61 %)
全くない	2 (4.08 %)	0	2 (4.08 %)	1 (2.04 %)	2 (4.08 %)

4. 臨床で行えそうですか？

行える	0
多分行える	13 (26.53 %)
たぶん行えない	32 (65.31 %)
行えない	4 (8.16 %)

肝胆膵内科【実習後】 (2) n=40

1. 実習後の腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい</li> <li>・便利</li> <li>・簡便かつ楽しい</li> <li>・経験が大事だと思った</li> <li>・練習すれば身につけられる</li> <li>・コツがわかればできる、面白い</li> <li>・臓器がはっきりと見えたことが自信になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんの少しの違いだけで出てくる画像が難しいと感じました。</li> <li>・とても丁寧に指導していただいたので、理解できました。</li> <li>・練習すればいろんな臓器を見ることができて面白い検査だと思いました。</li> <li>・超音波検査でもかなり細かく精査できると知りました</li> <li>・綺麗に狙ったところを迅速に描出するのが難しかった。</li> <li>・臓器がはっきりと見えたことが自信になりました。</li> </ul>
--	---

2. 臓器抽出の自信はありますか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
非常にある	10 (25.00 %)	9 (22.50 %)	7 (17.50 %)	9 (22.50 %)	6 (15.00 %)
ある	19 (47.50 %)	21 (52.50 %)	13 (32.50 %)	24 (60.00 %)	19 (47.50 %)
たぶん	10 (25.00 %)	9 (22.50 %)	17 (42.50 %)	7 (17.50 %)	14 (35.00 %)
ない	1 (2.50 %)	1 (2.50 %)	3 (7.50 %)	0	1 (2.50 %)
全くない	0	0	0	0	0

3. 画像の出来栄え（無回答 数名）

	◎は何枚でしたか？	2)○は何枚でしたか？	×は何枚でしたか？
0	1	3	7
1-5	11	22	20
6-13	17	3	3
平均	6.20	3.17	2.47

4. 臨床で行えそうですか？

行える	2 (5.00 %)
多分行える	26 (65.00 %)
たぶん行えない	12 (30.00 %)
行えない	0

5. 実習のどのような点が役に立ちましたか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコーで臓器がどう見えるか教えてもらった点。</li> <li>・ひとつひとつ先生が丁寧に教えてくださった点。</li> <li>・たくさんの臓器を見たこと</li> <li>・制限時間があることで素早く描出する練習になった。</li> <li>・すぐに復習があったため理解しやすかった</li> <li>・将来に直接活かすことのできるような講義でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの臓器を描出する際のプローベの角度についても詳しく教えていただけて分かりやすかったです。</li> <li>・将来に直接活かすことのできるような講義でした。</li> <li>・友だちの身体を使って実際にできたこと</li> <li>・超音波検査は将来にも必ず役に立つと思うので、学生のうちからこのような機会を設けて頂いてとても良かったです。</li> </ul>
--	--

6. 実習のどのような点を改善したほうがよいと思いますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし(多数)</li> <li>・もう少し時間があると良かったです。</li> </ul>
---

7. その他、ご意見ご要望ご感想などをお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったです。ありがとうございました。</li> <li>・超音波検査は難しく、空間的に何を見ているのか分からなくてとても苦手なのですが、たくさん練習の機会を頂けてとても良かったです。ありがとうございました。</li> <li>・FAST ももう少しじっくり勉強したかったです。</li> <li>・非常にレベルアップできた実習でした</li> </ul>
---



## 腰椎穿刺（整形外科・神経内科） n=57

診療科内訳：整形外科 25 (43.86 %)、神経内科 32 (56.14 %)

### 1. 実際に腰椎穿刺手技を見たことがありますか？

はい	22 (38.60 %)
いいえ	35 (61.40 %)

### 2. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
20	75.55	100

### 3. 本実習の感想は？

非常に良い	32 (56.14 %)
良い	23 (40.35 %)
悪い	1 (1.75 %)
非常に悪い	1 (1.75 %)

### 4. 難しかったですか？

はい	38 (66.67 %)
いいえ	19 (33.33 %)

### 5. 4.で「はい」の方 どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手に髄液を引けなかった</li> <li>・穿刺場所の決定</li> <li>・刺す深さ</li> <li>・患者への配慮と清潔への注意</li> <li>・黄色靭帯を貫く感じ</li> <li>・真っ直ぐ穿刺するところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと刺さっているのか全くわからなかった</li> <li>・穿刺する位置は合っても髄液が引けなかった。</li> <li>・硬膜を刺すところで、硬い感触が全然分からず苦労しました。</li> <li>・刺す角度</li> <li>・実際に人にできる気がしない</li> </ul>
--	--

### 6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰椎穿刺をスムーズにできるようになった。</li> <li>・腰椎穿刺の流れを一通り通すこと</li> <li>・硬膜を貫く感覚が分かりました。</li> <li>・腰椎穿刺の正しい場所を知れた</li> <li>・患者への配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤコビー線の見方がわかるようになりました。</li> <li>・禁忌や合併症について理解できた</li> <li>・清潔操作で物品を取る順序や置く位置を正しくできるようになった。</li> <li>・針の持ち方をマスターしました。</li> <li>・腰椎の形をイメージできるようになりました。一発で髄液をだせました。</li> </ul>
---	--

### 7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・髄液圧をしっかりと測れるようになりたいです。</li> <li>・声がけと穿刺場所の決定</li> <li>・素早く手技を行えるようにする</li> <li>・実際の人でもできるようにする。</li> <li>・清潔や患者への配慮へもう少し気を配れるように手技に慣れる。</li> <li>・1 発で流れをできるようにする、清潔意識する</li> <li>・腰椎穿刺の適応や禁忌について説明できるようになる</li> <li>・患者さんに寄り添うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰椎穿刺のやり方を他人に説明できるレベルまで習熟することです。</li> <li>・次回では、別の班に教えられるように頑張りたいです。</li> <li>・患者さんに緊張した様子が伝わらないよう自信を持つこと。しっかり順序を覚えること。</li> <li>・今回はなかなか一回ではうまくいかず何回も差し直してしまっただけなので、もっと練習して、患者さんを不安にさせずに腰椎穿刺ができるように頑張りたいです</li> </ul>
---	---

### 8. 2 回目の実習の時のみお答えください。

#### 前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	13 (22.81 %)
した	12 (21.05 %)
同じ	4 (7.02 %)
下がった	1 (1.75 %)

### 9. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	10 (17.54 %)
増	41 (71.93 %)
減	1 (1.75 %)
非常に減	0

### 10. 今日の実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	38 (66.67 %)
まあまあ	14 (24.56 %)
あまり	1 (1.75 %)
全然	0

### 11. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください。

・特になし
-------

### 12. 整形外科、神経内科で他にどんな実習を希望しますか？

- ・実際の腰椎穿刺の見学
- ・関節鏡を、膝以外もやってみたいです。
- ・神経内科で外来見学の時間が欲しかったです

耳鼻科(挿管・喉頭ファイバー・気切) n=49

1. 予習はしてきましたか？

十分に	12 (24.49 %)
少し	32 (65.31 %)
全然	5 (10.20 %)

2. 実際に挿管を見たことはありますか？

いいえ(0回)	15 (30.61 %)
1回	7 (14.29 %)
2~4回	16 (32.65 %)
5回以上	11 (22.45 %)

3. 本日の自分は100点満点中何点？

最低	平均	最高
0	83.06	100

4. 本実習の感想は？

非常に良い	33 (67.35 %)
良い	15 (30.61 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 難しかったですか？

はい	26 (53.06 %)
いいえ	22 (44.90 %)

6. 5. で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・口が硬すぎて口を開けるのが難しかったです。</li> <li>・喉頭鏡を喉頭蓋谷にセットして声門を目視するのが難しかったです。</li> <li>・気道確保をスムーズに行うことが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢良く挿入ポイントを探すのが難しかったです。</li> <li>・歯を折らないようにすること、内視鏡の動かし方</li> <li>・ファイバーいれるのがむずかしかったです</li> <li>・持ち上げる場所を掴むのが難しかったです</li> </ul>
--	---

7. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スニッピングポジションを綺麗に行えば意外と声門が簡単に見ることができる。</li> <li>・喉頭ファイバーの使い方、気管切開の適応と切開する位置</li> <li>・鼻の中の構造が立体的にわかりました。</li> <li>・挿管の基本的な手技や咽頭ファイバーについて理解できた。</li> <li>・力のかけ具合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿管の流れが理解できた</li> <li>・喉頭蓋になるべく触れないように。歯を折らないように。</li> <li>・喉頭鏡の使い方や気管切開について勉強できました。</li> <li>・気管支挿管のポイントを知れた。</li> <li>・挿管で舌を持ち上げる角度や、マスクの使い方を学べました。</li> </ul>
--	---

8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとスムーズに気管挿管を行うこと。</li> <li>・モニターがついてない器具を用いた気管挿管</li> <li>・食堂挿管がないように喉頭鏡の使い方をマスターすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者さんを傷つけないように確実に挿管できるようになること</li> <li>・実際に気管挿管を実践すること</li> <li>・解剖の名前を再確認しようとおもいます！</li> </ul>
--	--

9. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	11 (22.45 %)
増	36 (73.47 %)
減	1 (2.04 %)
非常に減	0

10. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	36 (73.47 %)
まあまあ	11 (22.45 %)
あまり	0
全然	0

11. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし(多数)</li> <li>・機材の関係上、気管切開が1人しかできないのが残念だと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片肺挿管した場合の肺の音聞きたかったです。</li> <li>・模型が人ではありえないほど出っ歯だったので直して欲しいです。</li> </ul>
--	---

12. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の患者さんで耳鏡を用いて鼓膜の所見をとる</li> <li>・頭頸部の解剖の復習、めまい実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼振の検査、聴力検査</li> <li>・耳垢をとる実習</li> </ul>
---	---

13. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指導いただき、ありがとうございました！</li> <li>・先生の説明が分かりやすかったです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管挿管、気管切開について詳しく学べてよかったです。</li> <li>・咽頭ファイバーは初めてだったので楽しかったです。</li> </ul>
--	--

(耳鼻科)耳鼻科診察 n=52

1. 予習はしてきましたか？

十分に	9 (17.31 %)
少し	37 (71.15 %)
全然	6 (11.54 %)

2. 本日の自分は 100 点満点中何点？

最低	平均	最高
20	81	100

3. 本実習の感想は？

非常に良い	30 (57.69 %)
良い	22 (42.31 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	23 (44.23 %)
いいえ	29 (55.77 %)

5. 4で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓膜を見て鑑別疾患を上げるのが難しかったです。</li> <li>・耳の中の構造が教科書通りではないので難しかったです。</li> <li>・中耳炎の種類を当てることができなかつたです。</li> <li>・実際に所見から病気を診断するところ。</li> <li>・視界が見えづらかつた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常と正常の違いがわかりにくかつた。</li> <li>・中耳炎の種類判別</li> <li>・鼓膜所見が最初見ても全然分かりませんでした。</li> <li>・鼓膜をうまく見るのが難しかったです。視野の真ん中に鼓膜がなかなかうつりませんでした。</li> </ul>
--	--

6. 本日の実習でできたこと、分かつたことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鏡の使い方</li> <li>・耳鼻科診察の方法</li> <li>・中耳炎の見分け方</li> <li>・鼓膜所見のとりにかた</li> <li>・写真で見るよりも鼓膜は小さく、これを見て診断するのかと驚きました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鏡を用いて実際の症例初見を見ることが出来ました。</li> <li>・鼻鏡など使つたことのない器具なども使わせていただけて楽しかつた。</li> <li>・教科書で見るよりも実際の耳で見ると難しいと思つた。</li> <li>・耳鏡の使い方、ヘッドライトの使い方を学んだ</li> <li>・慢性中耳炎の耳のイメージを掴めた。</li> </ul>
--	---

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鼓膜を見て疾患を鑑別すること！</li> <li>・もう一度典型的な写真を確認して、特徴を確認してきます。</li> <li>・患者の苦痛なく診察する</li> <li>・患者さんへの気遣いを改善したいです。</li> <li>・鑑別疾患を頭に入れて診断できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耳鏡を使って中耳炎の種類を当てたいです。</li> <li>・スムーズに診察する</li> <li>・もう少し、耳の疾患を勉強すること</li> <li>・実際に自分一人で診察できるようになる。</li> <li>・綺麗に手早く描出したい</li> </ul>
---	--

8. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	6 (11.54 %)
増	46 (88.46 %)
減	0
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	34 (65.38 %)
まあまあ	18 (34.62 %)
あまり	0
全然	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし(多数)</li> <li>・実際の人でやれたらもっと理解が深まると思います</li> <li>・機材(ライト)を6人班に対応するように充実させてほしい</li> </ul>
---

11. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡検査</li> <li>・鼻腔内視鏡</li> <li>・聴覚・平衡覚・眼振の検査</li> <li>・頭頸部の解剖が難しいので、あれば立体的な模型での解剖の復習があると嬉しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に患者さんに診察しているところを見学したいと感じた。</li> <li>・眼振の検査、聴力検査</li> <li>・甲状腺エコー</li> <li>・聴力検査の実習など経験したいです</li> </ul>
---	--

12. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しかったです！ありがとうございました。(多数)</li> <li>・鼻の診察を初めてしたため楽しかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診察器具の使い方のコツが学べてよかったです。</li> <li>・とてもたくさん教えてくださって良かったです。</li> </ul>
---	--

### 内視鏡(消化器内科・総合診療科) n=83

診療科内訳: 消化器内科 22 (26.51 %) 総合診療科 61 (73.49 %)

#### 1 予習はしてきましたか？

十分に	6 (7.23 %)
少し	41 (49.40 %)
全然	36 (43.37 %)

#### 2. 実際に内視鏡検査は見たことがありますか？

はい	41 (49.40 %)
いいえ	42 (50.60 %)

#### 3. 実習前の内視鏡に対する興味は 100%中何%ですか？

最低	平均	最高
0	64.38	100

#### 4. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最低	平均	最高
20	73.75	100

#### 5. 本実習の感想は？

非常に良い	64 (77.11 %)	悪い	0
良い	18 (21.69 %)	非常に悪い	0

#### 6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡の基本操作。手で回転をかけること。</li> <li>・やっていくうちに方向感覚が少し掴めた</li> <li>・S 状結腸等の下部を通過する。</li> <li>・内視鏡検査の実技が出来るようになった</li> <li>・結腸の端まで観察できました。</li> <li>・S 状結腸等の下部を通過する。</li> <li>・内視鏡のやり方はわかった。</li> <li>・消化管内視鏡のイメージが湧きました</li> <li>・胃カメラを少しだけ扱えるようになった</li> <li>・操作法を学ぶことができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回よりスムーズに動かせより早くできるようになった</li> <li>・消化管内視鏡でとりあえずのノルマはクリア出来ました。</li> <li>・1 回目は時間がかかった下部消化管内視鏡を 2 分ほどでスーパーボールまで到達できたこと。</li> <li>・下部消化管内視鏡で回盲部まで到達できた</li> <li>・内視鏡をある程度までは自分で動かせることができるようになりました。</li> <li>・胃の病変について全て確認することができ、大腸は最後まで到達できた。</li> <li>・思い切ってカメラを入れることができたこと。胃カメラは全ての項目を達成することができたこと。</li> <li>・前回より操作がスムーズにできたこと。鉗子・生検のやり方を学んだ</li> <li>・しばらく期間が空いたので全然出来なくなっていました</li> </ul>
--	---

#### 7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと時間をかけないようにする</li> <li>・患者への配慮を忘れない</li> <li>・内視鏡の操作方法をマスターしたい</li> <li>・正確さを求めて練習したい</li> <li>・不慣れなところがあり、時間もとてもかかってしまったので、次回はもっと素早くできるようになりたいです</li> <li>・大腸カメラの扱いもできるようになる</li> <li>・筋力もなさすぎて 7 分間耐えるのもしんどかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの先端の光を見るのではなく、画面をみて操作すること。</li> <li>・スムーズに力の強さを考えて視野確保を丁寧にできるようにする</li> <li>・上部消化管内視鏡で病変部を確認すること</li> <li>胃の噴門部や小弯など、内視鏡を大きくカーブさせて見る場所を確認できるようにする。</li> <li>・とても時間がかかってしまったので、次回はもっとスムーズにできるようにになりたいです。</li> <li>・スムーズにカメラを入れ次進むべき道を見通すこと。</li> </ul>
--	--

#### 8. 2 回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	10 (12.05 %)
した	21 (25.30 %)
同じ	9 (10.84 %)
下がった	3 (3.61 %)

#### 9. 2 回目の実習の時のみお答えください。2 回目の実習があることで、実際の臨床現場で内視鏡検査に立ち会う姿勢が変わりましたか？

かなり変わった	6 (7.23 %)
変わった	22 (26.51 %)
同じ	8 (9.64 %)

#### 10. 実習後の内視鏡に対する興味は 100%中何%ですか？

最低	平均	最高
50	80.77	100

#### 11. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください。

特にないです。実習ありがとうございました。 楽しかったです	もう少し内視鏡と直腸診のシュミレータをできる時間があつたら嬉しかったです
----------------------------------	--------------------------------------

## 放射線治療科(内照射)n=32

### 1.一連の放射線治療科実習を受ける前の放射線治療に対する印象は？

良い	44 (88.00 %)
悪い	1 (2.00 %)
ない	5 (10.00 %)

### 2.一連の放射線治療科実習を受けた後の放射線治療に対する印象は？

すごく興味がある	18 (36.00 %)
興味がある	31 (62.00 %)
興味がない	1 (2.00 %)
すごく興味がない	0

### 3.「子宮頸がんと放射線治療」の実習の難易度について

難しすぎる	0
難しい	4 (8.00 %)
ちょうどいい	43 (86.00 %)
簡単	3 (6.00 %)
簡単すぎる	0

### 4.「子宮頸がんと放射線治療」の実習の内容について

おもしろかった	49 (98.00 %)
つまらなかった	1 (2.00 %)

### 5.「子宮頸がんと放射線治療」の実習の分量について

多い	2 (4.00 %)
ちょうどいい	45 (90.00 %)
物足りない	3 (6.00 %)

### 6.一連の放射線治療科実習を通じて感想、要望をお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージがより明確になってよかった。</li> <li>・はじめての実習だったので、楽しかったです。</li> <li>・模型を用いた実習で実際の手技を学べてとてもありがたかったです。細かな作業が大切なんだなと思いました。</li> <li>・放射線特有の視点や面白さをたくさん学べました。患者さんや症例を見る機会があればより深く学べていいと思います。</li> <li>・SSC での実習や読影のご講義もとても楽しかったです。私自身は放射線科が志望なので、勉強になりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国試の問題を解説していただけて参考になりました。</li> <li>・時間がなかったのであまり実習はできませんでしたが、原理などは丁寧に教えて頂き、よく分かりました</li> <li>・放射線科の治療のお話を具体的に聞けたのが興味深かったです。</li> <li>・問題を解いただけだったので実習という感じではなかったです。腔内照射がイメージできませんでした。</li> <li>・問題を解きながらの講義だったので勉強になりました。</li> </ul>
---	---

総合診療センター（英語） n=70

1. 英語は

得意	8(11.43%)
普通	30(42.86%)
不得意	32(45.71%)

2. 普段英語を使う機会がありますか？

はい	8(11.43%)
いいえ	62(88.57%)

(ア) で「はい」の方はどこで？

(イ) オンライン英会話、バイト先、留学生との会話など

4. 将来仕事で英語が必要だと思いますか？

はい	69(98.57%)
いいえ	1(1.43%)

5. 将来海外で働きたいですか？

はい	18(25.71%)
いいえ	52(74.29%)

6. 前半の学生同士の問診実習の難易度は？

簡単	3(4.29%)
ちょうど良い	58(82.86%)
難しい	9(12.86%)

7. 後半の模擬患者さんに対しての問診実習の難易度は？

簡単	4(5.71%)
ちょうど良い	36(51.43%)
難しい	30(42.86%)

8. 英語だけでの実習はどうでしたか？

英語だけがよい	43(61.43%)
分からない時は日本語も使いたい	24(34.29%)
全部日本語がよい	3(4.29%)

9. 模擬患者さんに共感的な態度を示すことはできましたか？

はい(日本語の時と同じくらい)	25(35.71%)
少し	41(58.57%)
いいえ	4(5.71%)

10. 本実習で英語に対する自信はつきましたか？

はい	36(51.43%)
いいえ	33(47.14%)

11. 本実習後の医学英語に対する興味は？

非常に増	15(21.43%)
増	52(74.29%)
減	3(4.29%)
非常に減	0

12. ご協力下さったベトナム、ケニアの先生方にメッセージをお願いします！日本語でも可！

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったです！（多数）</li> <li>・優しく対応してくださり有難うございました（多数）</li> <li>・表現がわからずつまっても笑顔でゆっくり聞いてくださり助かりました</li> <li>・下手な英語もがんばって聞こうとしてくれてありがとうございます。</li> <li>・実践的な受け答えをしていただいたおかげで非常に良い練習になりました。</li> <li>・文法的には成り立ってなくても何とか伝えることができ良かったです。</li> <li>・英語を用いた実習はあまりないため貴重な機会でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を全て英語で行うのが良かったです。</li> <li>・わからない医学英単語があれ以上あると覚えるのが大変だと思うので、英語と知識とちょうどいいバランスだと思いました。</li> <li>・医師になるまでに英語を勉強しようと思いました。</li> <li>・自分の英語力の無さに悲しくなりました。</li> <li>・ちょっとレベルが高いです。模擬患者が何を言っているかあまりわかりませんでした。</li> <li>・Thank you for joining this practical work!</li> <li>・I wanted to talk with you more.</li> <li>・I enjoyed talking with you so much!</li> </ul>
---	--

### 整形外科(神経学的所見) n=54

#### 1. 実習前の段階で、神経診察に苦手意識はありましたか

とても	28 (51.85 %)
まあまあ	24 (44.44 %)
少し	2 (3.70 %)
全然ない	0

#### 2. 本実習は役に立ちそうですか？

とても	51 (94.44 %)
まあまあ	2 (3.70 %)
少し	1 (1.85 %)
全然ない	0

#### 3. 実習の進め方は？

非常に良い	49 (90.74 %)
良い	5 (9.26 %)
悪い	0
非常に良い	0

#### 4. 実習後、神経診察に苦手意識はありますか？

とても	12 (22.22 %)
まあまあ	7 (12.96 %)
少し	32 (59.26 %)
全然ない	3 (5.56 %)

#### 5. 神経診察を行う自信はつきましたか？

とても	17 (31.48 %)
まあまあ	30 (55.56 %)
少し	7 (12.96 %)
全然ない	0

#### 6. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	15 (27.78 %)
増	39 (72.22 %)
減	0
非常に減	0

#### 7. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

・神経診察のポイント、考え方を詳しく学べて良かったです。  
 ・丁寧に教えていただきとても勉強になりました。  
 ・オスキーでは分かりにくかった神経診察がとてもわかりやすくなったと思います。  
 ・試験に合格するために暗記していた部分が、理屈で説明できることを学び、発見の多い充実した時間でした。  
 ・MMTについて理解することが出来ました。

・英語と日本語を混ぜて講義していただきましたが、非常に理解しやすく、神経診察への理解が深まりました。  
 ・先生のお話はとてもわかりやすく、時々笑いも交えながらお話ししていただき、非常に理解しやすかったです。MMT の計測に関しては、重力をかける体勢について、新たに気付かされることがありました。とても面白かったです。  
 ・膨大な神経診察を、ポイントをまとめてコンパクトに実習して下さった部分が良かったです。概念的な部分を理解できました。

### 整形外科(ギプス) n=47

#### 1. これまでにご自身がギプス治療を受けた、または家族・友人が受けたのを間近で見たことはありますか？

はい	14 (29.17 %)
いいえ	33 (68.75 %)

#### 2. 1で「はい」の方 その感想・印象は？

・ギプスの装着を継続していると、ギプスの中の皮膚が非常に痒くなるのが印象に残っています。  
 ・暑くて固く、しっかり固定されるイメージ  
 ・ノコギリでギプスを切られる時が怖かった  
 ・蒸れて痒い、動きにくくて重い

#### 3. 本実習の感想は？

非常に良い	33 (68.75 %)
良い	13 (27.08 %)
悪い	1 (2.08 %)
非常に良い	0

#### 4. 実習の進め方は？

非常に良い	32 (66.67 %)
良い	15 (31.25 %)

#### 5. 難しかったですか？

はい	27 (56.25 %)
いいえ	20 (41.67 %)

6. 5で「はい」の方、どのようなところが？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギプスを迅速に巻くところ</li> <li>・巻き方</li> <li>・素早く綺麗に巻くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギプスを電鋸で切断するところ</li> <li>・ギプスが固まるのが意外とはやかったこと。</li> <li>・患者の生活のことを思っかつ迅速に巻くこと</li> </ul>
--	---

7. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	9 (18.75 %)
増	36 (75.00 %)
減	2 (4.17 %)
非常に減	0

8. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に丁寧に指導していただき、とても楽しかったです</li> <li>・難しかったですが興味深く勉強になりました。</li> <li>・実際にギプスを巻いたのははじめてだったので、楽しかった。もっと練習して上手になりたいと思った。</li> <li>・想像以上に難しかったので次回また機会があれば注意点を踏まえて臨みたい。</li> <li>・ギプスカッターが見た目より安全なことを知れた</li> <li>・実践的で、他科に行っても役立つような知識、手技なので、非常に勉強になり、また面白かったです。</li> </ul>
--

整形外科(糸結び) n=39

1. これまでに手術に参加して糸結びを行う機会がありましたか？

はい	22 (56.41 %)
いいえ	17 (43.59 %)

2. 糸結びの方法を教えてもらう機会がありましたか？

はい	24 (61.54 %)
いいえ	15 (38.46 %)

3. 2で「はい」と答えた方、具体的な科を教えてください。

消化器外科・肝胆膵外科・形成外科・呼吸器外科・脳神経外科・皮膚外科・整形外科
--

4. 難しかったですか？

はい	20 (51.28 %)
いいえ	19 (48.72 %)

5.4で「はい」と答えたCの結び方が難しかった方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・色んな結び方があるから</li> <li>・結紮の方向、結び目の付け方</li> <li>・手や糸の動きを理解するのが難しかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手袋を二重につけて糸を結ぶのが難しかったです。</li> <li>・結び方が何種類もあり、すぐに忘れてしまうこと。</li> <li>・手先の動かし方が細かいところ</li> </ul>
---	---

6. 実習の進め方は？

非常に良い	28 (71.79 %)
良い	11 (28.21 %)
悪い	0
非常に良い	0

7. 本実習の感想は？

非常に良い	31 (79.49 %)
良い	8 (20.51 %)
悪い	0
非常に良い	0

8. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	13 (33.33 %)
増	25 (64.10 %)
減	1 (2.56 %)
非常に減	0

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸結びは難しかったが、とても説明がわかりやすかった。</li> <li>・先生にとっても丁寧に指導していただきました。ありがとうございました。</li> <li>・糸の結び方だけでなく、それぞれの特徴について簡単に講義をしてくださるのが良かったです。糸の結び方を忘れないように自分で復習します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても丁寧に教えていただいて糸結びの方法を理解できました。</li> <li>・非常に勉強になりました。今回学んだことを忘れずに活かしていきたいです。有難うございました。様々な結紮方法が知れて良かったです。</li> <li>・とても分かりやすく結び方を教えていただけました。</li> </ul>
--	---

10. 整形外科で他にどんな実習を希望しますか？



・特になし(多数) ・徒手整復できる疾患の実習を希望します。	・関節エコー ・画像読影の練習
-----------------------------------	--------------------

総合診療科リクエスト実習(感染症基本手技) n=35

1. 予習はしてきましたか？

十分に	6 (17.14 %)
少し	23 (65.71 %)
全然	6 (17.14 %)

2. 本日の自分は 100 点満点中何点？

点数	100	90	80	70	60	50	40	30	0~20
人数	6 (17.14 %)	4 (11.43 %)	12 (34.29 %)	6 (17.14 %)	4 (11.43 %)	1 (2.86 %)	0	1 (2.86 %)	0

3. 本実習の感想は？

非常に良い	24 (68.57 %)	悪い	0
良い	11 (31.43 %)	非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	12 (34.29 %)
いいえ	23 (65.71 %)

5. 4で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不潔にならないように注意しないといけないところ。</li> <li>・不明熱の診断方法が難しかった。</li> <li>・鑑別疾患を挙げて必要な検査、治療を考えることが難しかった。</li> </ul>
---

6. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの仕方。</li> <li>・検査をする際に気をつけるべきポイントについて学ぶことができました。</li> <li>・PCR の咽頭ぬぐいの際に立ち位置の重要性を改めて認識しました。</li> <li>・筋肉注射の復習や、正しい手指消毒や個人防護具の着脱について学べてよかったです</li> <li>・PCR の復習ができたのでよかったです。</li> <li>・SOFA スコアについて勉強できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PPE についてしっかり復習をすることができたのが良かったです。</li> <li>・どのようなことでエラーが起きるのか、エラーの種類を認知することでそれを意識して回避することが大切だと思いました。</li> <li>・知識を覚えているだけでなく実践できるよう練習しないと役に立たないこと。</li> <li>・不明熱の原因が患者の状態(外来か入院かなど)によって変わることがわかった。</li> <li>・PCR の咽頭拭いは、棒を鼻から耳へと真っすぐに挿入する。</li> </ul>
--	--

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟で実際に今日やった内容を行えること</li> <li>・手指消毒に関して日々行う操作だからこそ、正しい操作を理解して習慣化したいと思いました。</li> <li>・不明熱の鑑別疾患を挙げるができるようになる。</li> <li>・感染対策をしっかりとできる医師になる。</li> <li>・清潔不潔などの感染対策を完璧にできるようにする</li> <li>・正確にスピーディーにできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑別疾患を何も見ずに挙げられるようになる。</li> <li>・診察をスムーズに行い異常所見を判別すること。</li> <li>・今回習ったことをちゃんと記憶し、実際の現場で同じことができるようにする。</li> <li>・手指消毒や PPE は普段の実習から行う機会も多いので、正しい方法を身につけて毎回意識して行うようにしたいと思いました。</li> <li>・手指消毒など気をつけるべきポイントをきちんと覚えておくこと。</li> </ul>
---	--

8. 実習後の感染症に対する興味は

非常に増	9 (25.71 %)
増	24 (68.57 %)
減	1 (2.86 %)
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	26 (74.29 %)
まあまあ	8 (22.86 %)
少し	0
全然ない	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・他のテーマについてもいつか講義受けてみたいです。
---------------------------

11. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく感染症診察基本手技について学ぶことができました。</li> <li>・非常にわかりやすく、端的に教えてください、とてもやりやすかったです、ありがとうございました。</li> </ul>
---

- ・問題を解きながらとても楽しく勉強できたのすごくいい実習だったと思います。
- ・診察した後プレゼンテーションするという流れがとてもいい練習になりました。

## 消化器内科(内視鏡下生検、直腸診) n=43

### 1.内視鏡下生検)実習内容は怎么样了か？

良かった	39 (90.70 %)
少し良かった	4 (9.30 %)
どちらでもなかった	0
少し悪かった	0
悪かった	0

### 2.内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	37 (86.05 %)
少し理解できた	6 (13.95 %)
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

### 3.内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	39 (90.70 %)
少し理解できた	4 (9.30 %)
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

### 4. 内視鏡下生検(スコピスト側)で難しかったことを教えてください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い通りに動かすこと</li> <li>・視野を固定しておくこと</li> <li>・カメラを腫瘍前で固定すること</li> <li>・鉗子操作の際、片手を内視鏡から話しつつ位置を保持すること</li> <li>・病変部を見つけるための操作</li> <li>・素早く操作すること</li> <li>・画面に病変をうつすこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病変へのアプローチ</li> <li>・生検用の鉗子を入れる間、スコープの位置を保ち続けること</li> <li>狙った場所に内視鏡を操作すること</li> <li>・穿孔させそうになったこと。</li> <li>・内視鏡の操作。急に鉗子が出ないようにすること</li> <li>・内視鏡の操作が上手くいかず病変に近づくこと</li> <li>・真っ直ぐ進めるためにアップダウンを調節すること</li> <li>・内視鏡を狙ったところに持って行くこと</li> </ul>
---	--

### 5. 内視鏡下生検(介助者側)で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に思わなかった</li> <li>・ガーゼでの介助</li> <li>・慎重に手を添える</li> <li>・スコピストと息を合わせること</li> <li>・持ち方</li> <li>・病変に鉗子を接触させること</li> <li>・どのようにしたらやりやすいかを考えること。</li> <li>・鉗子の先端の位置を確認しながら引き抜くこと</li> <li>・スコピストの立場に立ってやりやすい介助を考えること</li> <li>・距離を合わせるところ</li> <li>・ワイヤーを初めて触ったので操作</li> <li>・液体の吹き出しを抑えるのを忘れた。</li> <li>・スコピストとタイミングを合わせてレバーを作用させること。</li> <li>・引き上げる時の所作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫対策</li> <li>・スコープを抜くときにガーゼで包むこと</li> <li>・呼吸を合わせること</li> <li>・手順を覚えること。</li> <li>・右手を開かないようにひっぱること。</li> <li>・入れるスピードややり方を理解すること</li> <li>・忘れずにガーゼで持つこと。</li> <li>・押しすぎて粘膜に突き刺さらないようにすること</li> <li>・適切なタイミングでうまく掴むこと</li> <li>・入れていく時の介助</li> <li>・器具の使い方</li> <li>・介助するコツや注意点などが意外とあったこと。</li> <li>・最後抜く時にちゃんと押さえておくこと</li> <li>・鉗子を抜くタイミング。</li> <li>・噛みづらかったです。</li> </ul>
---	---

### 6. 内視鏡下生検の実習の感想と、良かった点と改善した方が良い点を教えてください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の情報量が多くてついて行くのが大変でした。</li> <li>・カメラを触る時間がもう少しあると嬉しかった。</li> <li>・授業と実習の説明がわかりやすかったです</li> <li>・生検を体験できて良かったです。</li> <li>・実際の生検をシミュレーションしているようで良かったです。</li> <li>・実際の手技を教えていただけたのは本当によかった。良かったです。</li> <li>・講義と実習ととても分かりやすくてためになりました。</li> <li>・総合診療科で行ったときは異なり、実際に生検まで行うことができ、とても充実した実習でした。プリントが大変わかりやすかったです。実際にできたのが良かったです</li> <li>・内視鏡の動かす感覚がわかった。勉強になった。楽しくできたのすごくよかったです</li> <li>・実際の内視鏡下生検をみたあとに実習をうけたので、自分が実際に行うイメージを持ってできた</li> <li>・実際に内視鏡を操作でき、また介助者も体験できたことで、今後内視鏡下生検を見る際に何をしているのかが分かりやすくなったと思う。</li> <li>・鉗子の操作をどうしているか想像がついていなかったのですが、介助者側の手技も体験できて理解が深まりました。</li> <li>・かなりリアルな器具で実習できた点です。難しいところもありましたが非常に勉強になりました。実際に器具を使いな</li> </ul>
--

から学べるのが良かったです。

- ・内視鏡生検の pitfall を知ったうえでどのような点に気を付けて実施していくべきかということを講義で学びました。また内視鏡治療の最先端技術まで知ることができ、楽しく拝聴させていただきました。
- ・実際にカメラを触る機会が少なかつたのでとても楽しかったです。先生が親切に教えてくださりました。
- ・内視鏡の実習を1回経験してから内視鏡下生検の実習だったので、1回目の時より自分の動かしたい方向に内視鏡を動かすことができた点。
- ・実際の治療に近い状況を経験し、医者の方の難しさが理解できた気がします
- ・もう少し時間に余裕をもって実習に取り組みたかったです。
- ・模型ではなく実物、もしくはそれに近いものだとより難易度が上がっていいと思う。
- ・実際に鉗子でものを掴むという体験もしてみたかった。
- ・改善した方がよい点は、実習時間をもう少し長くしてほしいです。
- ・介助者の、鉗子の操作も学べて良かったです。カメラの動かし方の指導をしていただけた。

7.(直聴診)実施内容はどうでしたか？

良かった	39 (90.70 %)
少し良かった	3 (6.98 %)
どちらでもなかった	1 (2.33 %)
少し悪かった	0
悪かった	0

8.直聴診の意義は理解できましたか？

理解できた	35 (81.40 %)
少し理解できた	8 (18.60 %)
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

9.直聴診の注意点は理解できましたか？

理解できた	37 (86.05 %)
少し理解できた	6 (13.95 %)
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

10.医師になってから直聴診をできる自信ができましたか？

ついた	16 (37.21 %)
少しついた	24 (55.81 %)
どちらともいえない	3 (6.98 %)
あまりつかなかった	0
つかなかった	0

11.10で直聴診ができる自信が「少しついた」、「ついた」以外を選んだ方はその理由を教えてください。

- ・前立腺の触知が意外と難しかった。
- ・直腸診の流れを学べたから
- ・説明がわかりやすく理解できました
- ・配慮すべき項目を勉強できた。
- ・指があまり長くないので、必要部分をきちんと触診できる自信がない。

12.直聴診で難しかったことを教えてください。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・指を入れる方向、動かし方</li> <li>・指をしっかり入れて広範囲を探ること</li> <li>・指を突込む時にとても痛かったです。</li> <li>・前立腺をさわること</li> <li>・患者への配慮</li> <li>・0時の方向を触診すること</li> <li>・患者の痛みや不快感をイメージすること</li> <li>・疾患を理解してその知識とつなげること。</li> <li>・手を傷めないように指を回転させること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・診察となると人によってポリープの位置が違ったり、体格が違って難しかったりするんだろうなと思いました。</li> <li>・実際に前立腺を触ってみましたが、normal/abnormalな硬さを見分けるのは難しそうだと感じました。また意外とポリープが奥の方にあったのでポリープが存在するという事前情報がなければ、見落としそうでした。自分が思っているよりも奥まで指を進める必要があると感じました。</li> <li>・ゆっくり指を進めていながら、自分がどこを触っているのか理解するのが難しかったです。</li> </ul> |
|--|---|

13.直聴診の実習の感想と、良かった点と改善した方がいい点を教えてください。

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。わかりやすかったです。</li> <li>・実臨床で、直腸診をする自信ができました。</li> <li>・配慮が大事だとわかった。楽しくできたので、改善点はなし</li> <li>・先生のユーモアがありながらとても楽しい実習でした。</li> <li>・触診を行う意義を学びました。AIが発展していますが、基本的な診察も頑張りたいです。</li> <li>・指の長さが足りずギリギリだったので、躊躇せずに指を入れることが大切だと思いました。</li> <li>・実習で一度見たことはありましたが詳しいところはよく理解できていなかったので勉強になりました。声かけなど配慮も学べたので良かったです。</li> <li>・指を入れる前にまず視診をすることが大切だとわかりました。プリントが大変わかりやすかったです。改善した方がいい点はありません。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に教えていただきありがとうございました。簡便でかつ有用な検査ですが、恥ずかしながら今の私にとって患者さんに直腸診を行うことは心理的なハードルが高い診察の一つだったので、実際に練習できて良かったです。声掛けが疎かになっていたので次はもっと意識できればと思います。</li> <li>・患者さんが何を不安に思っているかを感じながら手技を行うことが大切だと学べた。</li> <li>・直腸診を実際に行い感覚は掴めたが、もう少し疾患などの説明があっても良かった。</li> <li>・際患者さんに直腸診を行う際はとても気を使う部位でもあるので、比べ物にならないくらいもっと緊張すると思いますが、練習ができて良い経験になりました。</li> <li>・実際に行う際には、患者に一定の苦痛が伴うと思うが、どの程度慎重に行うべきなのかが分かれば良いと思う。</li> </ul> |
|---|---|

・実際するイメージはなかなか湧かなかったけれど、詳しく臨床での使い方を教えていただけてよかったです。	・直腸診の目的、方法について復習できてよかったです。始めに見本を見せていただいたところがよかったです。
--	---

## 消化器内科(腹部診察) n=31

### 1. 実習の内容はどうでしたか？

良かった	29 (93.55 %)
少し良かった	2 (6.45 %)
どちらでもなかった	0
少し悪かった	0
悪かった	0

### 2. 腹部診察に興味を持ちましたか？

興味を持った	26 (83.87 %)
少し興味を持った	5 (16.13 %)
どちらともいえない	0
あまり持てなかった	0
持てなかった	0

### 3. 興味を持った診察方法、その理由を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎臓触診、触診も可能なことに少し驚いた</li> <li>・腹水の評価。</li> <li>・肝臓の触診が難しくできるようになりたい。</li> <li>・McBurney 点</li> <li>・マーフィー徴候、わかりやすい診察だった</li> <li>・ゲームみたいだった点</li> <li>・腹水の評価、方法が面白かったです。</li> <li>・腎臓の触診、すごく深くに手を差し込んでいたので、痛くないのかなと思いました。</li> <li>・腹膜刺激症状の診察が、その重要度の点から興味を持ちました。</li> <li>・触診や打診は実際の臨床現場でも使うということで興味深かったです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋性防御、反跳痛。簡便に行え、陽性であるからどうかで疑うべき疾患や次に行うべき検査が変わるから。</li> <li>・全く触るのが初めてだったので、内視鏡を持って右手の動かし方、左手の動かし方全部が興味深かったです。</li> <li>・腹膜刺激症状の診察。見落としてはいけない大事なものだから。</li> <li>・肝臓の触診。実際の人で触診しても、はっきりとわかるものなのか気になったから。</li> <li>・Murphy sign それで診察できれば診断にグッと近づくから。</li> <li>・叩打痛の診察方法を知らなかったのでしたよかったです。夜間救急などでよく使うと教えてもらいました。</li> <li>・肝臓の触診に興味を感じ、しっかり指を入れないと触診できないことを学びました。</li> </ul>
---	--

### 4. 腹部診察のどのような点が難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> <li>・触診</li> <li>・打診</li> <li>・声掛け</li> <li>・肝臓の触診</li> <li>・カメラを手で使って回転させる点</li> <li>・肝臓の打診の音の違いの聞き分け</li> <li>・解剖学の知識が必要な点が難しかった</li> <li>・自分が触れているものが正常なのか判断するのが難しかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの診察と言われて、どこをどうするか覚えること</li> <li>・触診で手を入れるのがすごく力が必要でした</li> <li>・肝臓の触診が、力が足りないのかうまく触れず難しかったです。</li> <li>・主観的な所見もあるので人によって評価が異なる可能性があること。</li> <li>・実際の患者さんではないので、イメージが付きにくい</li> <li>・自分の思うような方向に内視鏡を進められない点。</li> <li>・腹水による波動や肝臓・腎臓の触診など、正常の場合にどうなのか、個人差がどれくらいあるのかが実際に人に対して行って見ないと分からないこと。</li> <li>・聴診がシュミレータなのでよく聞こえましたが、実際の患者さんでは聞き取るのが難しいだろうなと感じました。</li> </ul>
---	---

### 5. この実習の感想と、良かった点と改善したほうがいい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい内視鏡の操作をもう一度できたこと。</li> <li>・金属音などの聞き分けが難しかった</li> <li>・ゆっくり腹部診察ができてよかったです。</li> <li>・先生の丁寧な指導で、楽しく学べました。改善点はないです</li> <li>・腹部診察の復習と新しい知識を学べてよかった</li> <li>・分担してやることで効率よく実習ができた</li> <li>・色々な診察を学べるのは良かったが時間が少なかった。</li> <li>・実際に内視鏡や触診などシュミレーターを使って経験できるのが良かったです</li> <li>・腹部診察を満遍なく経験でき、有意義な時間を過ごせました。もう少し時間にゆとりを持てたらいいなと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作が難しかったので、しっかり先生が教えてくださって良かったです。</li> <li>・OSCE で経験したことのない徴候も網羅していてよかったです。実際によくする診察や、そのコツをもう少し知りたかったです。</li> <li>・呼吸による動きが再現できるシュミレーターで大変良かったです。改善した方が良い点は、実習時間をもう少し長くしていただきたいです。</li> <li>・各種診察手技を行う意義や、正常ではどう、異常な場合はどう、ということを経験できた。腸蠕動音の金属音など、言葉だけではイメージし難いものを実際に聞くことができた。</li> </ul>
--	--